

タンク残量を可視化させ適切な補充時期を予測『ガスタンク残量監視』

■課題

ガス供給会社は、設置したガスの貯蔵タンクの残量監視を行ってます。貯蔵タンクが設置されている箇所を見回りにしていると時間と労力がかかります。また、タンク自体の定期的なメンテナンスも必要になりますので、タンク状態を確認する手間もあります。これらを簡略化することが出来れば維持コストは削減できます。

■概要・期待効果

貯蔵タンクの残量や圧力、温度などをセンサーで計測して各データを無線集約することで配線工事が不要となり安価・簡単にデータが集められます。蓄積されたデータからは、グラフなどで閲覧することで、残量の減少傾向が予測でき、適切な時期に補充作業が行える効果に期待できます。また、異常が出た場合は、警報メールが届くので緊急で点検することができます。

